

会報 No.325



キャリア・コンサルタント

2022年（令和4年）3月10日

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：渡邊 健三

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3
小川町北ビル 8F

Tel: 03-3256-4167 (代表)

直通電話：営業本部 03-6821-7544

：外国人材受入事業部

03-6826-7789

Fax: 03-3256-4168

E-mail：[事務局] jimukyoku@ccco.jp

[営業本部] eigyo@ccco.jp

URL：http://ccco.tokyo

http://www.ccco.jp

編集長：田中 努

編集者：影山和子 大野長壽

中野忠 福田秀樹

1. 仕事に生きる禅の言葉（その2）

理事 荻野 徹

（健康管理その12）

2. 「医聖ヒポクラテスとドクターズルール」

理事 事務局長 宮坂 武彦

（特別寄稿 第16回）

3. コロナ情報

藤田医科大学 名誉教授 船曳 孝彦

（記憶に残る西部劇 その4）

4. 「リオ・グランデの砦 Rio Grande 1950」

元日立ビルエンジニアリング(株) 常務 小泉 幾多郎

（こころの落とし文 第7回）

5. 高校生時代の麻雀

田園 忠児

6. 事務局だより

事務局

一粒万倍

1. 仕事に生きる禅の言葉（その2）

理事 荻野 徹

仕事に生きる禅の言葉とエピソード

1. 眼横鼻直（がんのうびちよく）

- 当たり前のことを当たり前として知ること。又、自分を飾らず、ごまかさず、正直に生きたらいいのです。
- どうしても私達は、良い事を認め、嫌なことを否定してしまいがちです。しかしそれは自分の都合で、事実は色々なことが起きます。
- 事実を総て肯定することです。全宇宙の総ての現象が、そのまま真実です。

（この言葉は、曹洞宗を起こした道元禅師が、中国から、持ち帰ったたった2つの言葉の一つです。もう一つは、只管只座（しかんたざ）ひたすら座れです。あまりにも当たり前のことですが、深い真実を言い当てていると思います。戦略とは、奇手、妙手ではなく基本の組み合わせです。ごまかさない仕事、人付き合い、約束、どれも深いですね。）

2. 前後際断（ぜんごさいだん）

- 過ぎた過去に思いを残さず、まだ来ない未来を苦にせず、ひたすら今に集中してなすべきことを確実に行えばいいのです。
- 真剣に、命がけで戦うプロは“いま・ここ”に生きている。「一球入魂」。
- 悩んだり、後悔している暇はない。プロは一瞬一瞬で結果を出してナンボである。
- “いま・ここ”に燃えているから、感動を与えられる。

（過去の失敗を引きずらず、成功にもいつまでも酔いしれず、今の事実集中する。まだ来ない未来の不安に心を奪われず、今、すべき対処に集中する。この連続の人生が一番、自分を生ききること。）

3. 随処作主（ずいしょさくしゅ）

- 随処作主とは、「随処に主と作れば、立処皆真なり」という言葉で、臨濟録に載っている言葉です。
- どんな境遇でもどんな処でも、自主的に生き束縛を受けない心を持って、自分自身が主人公という意味です。

(どうしても私たちは、周りを気にしてしまいます。自己の外に求めたり比べたりしてしまいます。職場でのトラブルや意見の対立があると、相手の意見や自分の主張にいつまでもこだわりがちです。真理というものは、固定されたものではありません。自分が生きているいまここが、すべての真理です。自分を信じ、その場に全力を投じていれば、その場が真理であり、どこでも主人公です。自分の分を知り、分に従うことで、どんな処でも主人公になれる。分をわきまえることで、自主的自由を得ることができるのです。)

4. 啐啄同時 (そったくどうじ)

- この「啐啄同時」は、「啐啄之機」ともいわれるものです。視親鳥は、産んだ卵を温めて孵化させます。まさに卵が孵化するとき、中にいる雛鳥は嘴で内側から殻をコツコツ突いて破ろうとします。内側から殻を突くことを「啐」といいます。そのとき、親鳥も外から殻を突ついて、雛鳥の誕生を助けようとしています。この親鳥の動作を「啄」といいます。
- 親子の呼吸がぴったり一致し、一体化したときにはじめて、新しい命が生まれてくるのです。

(この言葉は、教育や指導のすべてに通じるものです。もちろん禅では、これを重要します。親子の関係でいえば、親は子どもの成長を見守り、助けながら、その成長の段階に応じてサポートしてやらなければなりません。しかし、子どもがまだ成長の機が熟していないのに、手を差し伸べて無理やり教えようとしても、効果はありません。)

5. 知足 (ちそく)

- 知足とは、文字通り「足るを知る」ということです。
- 知足とは、毎日の生活をしていく上で、様々な欲心にとらわれ、もがくことをしなければ、いま取り組んでいる一事に全力投球できるということです。
- 知足とは、いま・ここの直面していることに対しての身構え・心構えです。
- 知足とは、よそや過去等と比較しないことです。

(いまある経営資源「人、モノ、金、時間、情報、夢」に感謝し、全部使い切ることです。各社や各人には、必ず優位特性があります。無いものを求めるのではなく、あるものを更に磨きをかけ発揮することです。事業家精神とは、何もないところからやり抜くことです。今ある経営資源を改革し、生かすことです。)

今回は、仕事のシーンで役立ちそうな代表的な禅語を五つ紹介いたしました。

(健康管理その 12)

2. 「医聖ヒポクラテスとドクターズルール」

理事 事務局長 宮坂 武彦

今回は、書くネタがつかまりましたので、閑話として医聖ヒポクラテスとドクターズルールから幾つかをご紹介します。

[医聖ヒポクラテスの格言]

- ・歩くと頭が軽くなる。
- ・火食は過食に通ず。
- ・まず何よりも害をなすなかれ。
- ・すべての病気は腸から始まる。
- ・歩く事は人間にとって最良の薬である。
- ・満腹が原因の病気は空腹によって治る。
- ・月に一度断食をすれば病気にならない。
- ・病気は神が治し、恩恵は人が受け取る。
- ・汝の食事を薬とし、汝の薬は食事とせよ。
- ・人は自然から遠ざかるほど病気に近づく。
- ・病気は食事療法と運動によって治療できる。
- ・食べもので治せない病気は、医者でも治せない。
- ・人間は誰でも体の中に百人の名医を持っている。
- ・賢者は健康が最大の人間の喜びだと考えるべきだ。
- ・病人の概念は存在しても、病気の概念は存在しない。
- ・私たちの内にある自然治癒力こそ真に病を治すものである。
- ・極度に激しい疾患には、極度に激しい治療が最も有効である。
- ・健全なる体を心掛ける者は完全なる排泄を心掛けねばならない。
- ・筋肉を充分に使っている人は病気に罹りにくく、いつまでも若々しい。
- ・心に起きることはすべて体に影響し、体に起きることもまた心に影響する。
- ・食べものについて知らない人が、どうして人の病気について理解できようか。
- ・患者に発熱するチャンスを与えよ。そうすればどんな病気でも治してみせる。
- ・人間がありのままの自然体で自然の中で生活をすれば 120 歳まで生きられる。
- ・病人に食べさせると、病気を養うことになる。一方、食事を与えなければ、病気は早く治る。
- ・病気は人間が自らの力をもって自然に治すものであり医者はこれを手助けするものである。

[ドクターズルール 425 及びドクターズルール 238]

これは、米国の医学博士が綴った医療現場における規則や格言をまとめたものです。

- ・薬物反応は患者によりさまざまな起こり方をする。

Drug reactions can be unique to a single patient.

- ・4種類を超える薬を飲んでいる患者についての比較対象試験はこれまでに行われたことはなく、3種類の薬を飲んでいる患者についての試験もほんのわずかしかな行われていない。4種類を超える薬を飲んでいる患者は医学の知識を超えた領域にいるのである。

There are no controlled patients taking more than four drugs and very few of patients taking three. Any patient no more than four drugs is beyond medical science.

- ・投与薬の数が増えれば、副作用の起こる可能性は指数関数的に高くなる。

THE likelihood of adverse drug reaction rises exponentially with any increase in the number of drugs administered.

- ・投薬を中止して患者の状態が悪くなるような薬はほとんどなく、あるとしてもほんのわずかである。

Few, if any, drugs cannot be safely stopped.

- ・すべての検査結果について、必ず患者名をチェックする習慣を身に付けなさい。報告書や検査結果が患者のカルテに入っていることがしばしばある。

Learn to check for the name of your patient on all laboratory and other test results.

Reports and results get switched.

- ・他の人が読めるような字を書きなさい。

Write so others can read it.

- ・患者が歩くところを必ず観察せよ。

Always observe the patient walking.

- ・患者に話すのではなく、患者と話すこと。

1010Talk with not to patients.

- ・医療過誤の最大の予防方法は、患者との良い人間関係と包み隠しのない正直さである。

The best prevention for malpractice is rapport with the patient and complete honesty.

- ・患者は処方どおりに薬を飲まないことが多い。

Patients frequently do not take drugs as prescribed.

- ・普通、患者が恨みに思うのは最初に犯したミスに対してではなく、さらにミスを重ねたことに対してである。

It is usually the second mistake in response to the first mistake that does the patient in.

以 上

(特別寄稿 第16回)

3. コロナ情報

藤田医科大学 名誉教授 船曳 孝彦

今、新型コロナに感染した人たちが各地でどうなっているのか、おそらく誰も把握していないのではないのでしょうか。前報でも書きましたが、いろいろな、中には正気の沙汰かと言えそうな方針が出され、検査難民となった方も、自宅内に待機という形で蟄居されている方も、運よく病院に入院されている方もおられることでしょう。

なにしろものすごい勢いで新規感染者が増えています。第5波のころの2倍以上で、行政はお手上げ状態といってもよいでしょう。なんと倍加速度は3日、ということは1か月で1000倍という計算になります。ここへきてやや衰えの兆しが見えて来てはいますが、オミクロン株はおそらく人類史上最強クラスの疫病ではないかと思われまます。

2,3日前のデータですが、東京都の新規感染者13,074人、累積感染者数(死亡者も入りますが)802,930人、東京都の人口1,396万人中の5.75%、ということは都民の17人に1人はコロナ感染を経験したことになります。現感染者は173,620人で、1.25%です。ざっとの計算ですが、入院している人は1,482人と意外に少なく、差引172,138人が町中で暮らしている訳です。

電車の中でも、デパート内でも、その群衆の1.2%(83人に1人)が現にウィルスを持っていると考えると、本当に怖いものです。政府は諦めているのでしょうか、マスコミもそれほどの危機感を持っていません。3回目のワクチン接種率が上がらないこともあってか、世の中に『今度は軽そうだからワクチンも打たなくても済みそう』というムードが出てきていると耳にしました。とんでもないことです。

確かに、感染力、増殖力は超一級でも、幸いにして致死率はそれほどではないようですから、やがては普通のインフルエンザ並み、風邪並みになって人類と共存してゆくことになるのではないかとは思いますが、高齢となり他疾患で通院している人は重症化しやすく死亡に繋がります。皆さん3回目のワクチンを打って、どうかくれぐれもお気を付けてお過ごしください。

私は一昨年春より『コロナ情報』発信してきました。その中でも繰り返し述べてきましたが、日本政府のコロナ行政は全くの失敗といってよいと思います。

2009年のインフルエンザパンデミック時に得られた知見を全く放棄して無対策のまま今回の新型コロナを迎えたことが、失政の始まりだと思います。Go-To政策やアベノマスクなどに無用な出費をする一方で、臨時医療施設の設置や検査体制の充実には出費を怠り、第5波迄の感染を招いてしまいました。そしてせっかくデルタ波が乗り切れての静穏時に何もしなかった。4か月間を無為に過ごしたことはいくら責めても足りない失政と言えましょう。

その結果で、①検査しないで診断せよ②感染者は自宅で療養せよ③濃厚接触者は自分で届け出し、同行した家族、友人にも知らせよなどという、医療行為に逆行する方針を示しました。医療先進国のすることではありません。医療三流国、四流国です。さらに④発熱外来はパニックで検査難民を生み、⑤自宅=宿泊施設=入院のシステムが構成されていない、⑥ワクチンのブースター接種のプログラムも全く出来ていませんでした。

政府、自治体がこだわったコロナ対策は、Ⅰ 感染爆発時に『緊急事態宣言』『蔓延防止対策』を出す Ⅱ コロナ病棟を指定する➡極力増やす Ⅲ 検査、濃厚接触者のフォローアップを民間に任せない を基本方針としてきました。これらはいずれも政治的匂いの濃い、「私はこれだけやりましたよ」と自らの選挙の票に直結させたい政策で、医師たちの要望とはかけ離れたものでした。実際にコロナ病棟を指定したことによる問題点を一切解決しようとせず、医療逼迫が起こるのは、これに協力しない病院側が悪いのだという姿勢で通してきました。

一方で、検査、診療の流れ（システム化）には手を付けずに丸投げし、ワクチン接種迄丸投げで、一貫した政策はどこにも見当たりません。

一貫性と言え、データ管理も然りで、分母の分からない分子だけの検査陽性率や接種後の感染陽性率、重症度判定の国、都のダブルスタンダードなど、国際的にヒンシュクを買っても、まるで気にかけていません。

また、国の行ってきた施策（とはいえない）には、予めウィルスの頻繁な変異を考慮して対応しようとする理解力も判断力も欠如しており、科学とは程遠いものでしょう。その表れが、嚴重な水際対策と言いながら実は穴だらけで今度のオミクロン株も穴をすり抜けたウィルスが、濃厚接触者、イベントなどを経て一気に広がったと見られます。

コロナ、コロナと大騒ぎし、一般の医療（特に緊急診療、癌治療）に皺寄せが来ていることの重大性はもっと強調されないといけないと思っています。昨年9月の『コロナ情報』にも記しましたが、医療側の新型コロナに対する住み分けをハッキリと打ち出し、国民に明示して安心して一般診療、コロナ診療を受けられるようにすべきです。

その《 医療施設の住み分け 》は次の通りです。

- A コロナ重症者受け入れを含めて対応（コロナ病床増設は限界）
- B 中等症を主体に受け入れ（同じく増床は限界）
- C 入院は出来ないが発熱外来を含め軽症者、中等症に対応
- D 臨時医療仮施設（いわゆる野戦病院）の設置、および協力
- E ホテル、オリンピック選手村、酸素センターなど待機収容施設への協力
- F 在宅患者への対応（家族内感染予防のため本来自宅待機は不可）
- G ワクチン接種への協力（校医として経験豊富）
- H 新型コロナ以外の治療に専念

このうちHは非難されるべきことではありません。コロナ以外にも重傷者、要治療者は数多くいます。新型コロナ死亡者は2万人（2年）、癌による死亡34.4万人/年、心疾患系死亡18万/年、東北大震災死亡行方不明者16万人です。これらの人の治療を疎かにしてよい筈はありません。

（2022年2月15日 記）

（記憶に残る西部劇 その4）

4. 「リオ・グランデの砦 Rio Grande 1950」

元日立ビルエンジニアリング(株) 常務 小泉 幾多郎

ジョン・フォード監督の騎兵隊三部作の最終作。この連作は、太平洋戦争を軍人として戦ったフォードのアメリカ軍に対する讃歌とも言えるが、「アパッチ砦」では、ヘンリー・フォンダが演じた辺境の隊長の突撃戦法に対し、ジョン・ウエイン扮する副官は良識ある人物、「黄色いリボン」でのウエインも退役真近の老大尉に扮し、敵インディアンの良き保護者でもあったが、この映画のウエインは勇猛果敢な騎兵隊長となり、アメリカ領内を荒らすアパッチが、騎兵隊が踏み込めないメキシコ領内に逃げ込んでしまうのに怒り国境のリオ・グランデ川を渡り、メキシコ領内のアパッチを殲滅してしまうタカ派の大佐を演じる。

南北戦争中、北軍だった大佐が、妻モーリン・オハラ南部の生家を焼いたため、戦後15年、妻と一人息子クロード・ジャーマン・ジュニアとで別居中。その息子が士官学校を落第し、志願兵となり、その息子を除隊させるために、後を追ってやって来たのだった。モーリン・オハラは白い肌に赤い髪、グリーン瞳が映える美女で、当時総天然色カラー女優と言われ、時代活劇のヒロインとして華やかに彩ったが、これは残念乍ら白黒。それでも魅力的なやさしさや美しいアップでの表情の美しさは変わらない。

全般的にアクションを主体に、ウエイン、オハラ夫妻の愛情か任務かの葛藤を絡まずシンプルな構成になっている。前半は、ウエイン、オハラ、ジャーマンの親子が再会による愛情が、叙情的に描かれると同時に、騎兵隊の仲間たちの絆、騎兵隊3部作で老軍曹長として重要な役割を演じてきたヴィクター・マクラグレンとのやりとりや、ベン・ジョンソンやハリー・ケリーjrが馬2頭に立って乗るローマ式騎乗、二人とも練習して本人が実際に騎乗したとのこと。

騎兵隊だけに馬が生きて使われている。息子ジャーマンの一人立ちするための努力等。後半になると、アパッチとの対決になり、馬車を襲うアパッチとの戦い、捕われた子供たちを救出すべく敵地へ乗り込む騎兵隊。アパッチを単純な悪として勧善懲悪になっているが凄まじい活劇で盛り上がる。戦いから帰還する騎兵隊を待つ家族、オハラのアップで無事か否かを確認する場面、最後の表彰式で音楽に合わせて、オハラが日傘をくるくる回す場面等々印象的な場面が数え切れないうちに終幕した。

音楽がヴィクター・ヤングだけに、優雅な旋律に纏われながら情緒豊かに描かれながら、騎兵隊専属のサンズ・オブ・パイオニアーズが歌いまくる。挿入曲は9曲とのこと。I'll Take You Home Again, Kathleen等を聴くと傾聴してしまい、ミュージカル映画かと思間違える場面も。このシーンを聴くウエインが「私の選んだのではない」オハラが「そうだったら嬉しかったのに」と答える。何とも言えないシーンとなった。その後二人は夫婦役で多くの名作「静かなる男1962」「マクリントック1,963」「100万ドルの決斗1971」を残すことになった。

(つづく)

5. 高校生時代の麻雀

田園 中児

昭和27年(1952年)4月から、某大学の付属高校への入学が決まった。そこは暗かった中学校と異なり、明るい過ごしやすいところであった。入学式に続いて、教室で担任の先生と生徒の初顔合わせが行われた。最初の授業が終わると、隣の席のS君がいきなり「今日に授業が終わったなら僕の家へ寄れよ」というのではないか。近くの公園の桜が満開なので見に来いと、周りのS君とT君も誘われ、早くも帰途に寄り道をするようになった。

その家は庭も広くて大きく、既に何人かの人々が集まって居た。そこには某学園の女子高校生(同級生)も何人かいた。高校も男子校であり女性には恵まれていないと思っていたが、これからの高校生活は楽しそうな雰囲気であった。クラスでは昼休みになるとグラウンドに出て、ボールとバット一本で済むソフトボールを楽しんだ。

高校生になると、父親の指導で麻雀を始めた。当時近所の夫婦が集まり、「天狗会」なる組織を作り、4卓16人で毎月持ち回りの麻雀大会を行っていた。そこでメンバーの不足を補うために、常時出場させられた。また、隣の家庭と我が家の父母で毎日ように「卓」を囲んでいた。しばしばメンバー不足のため、私も加わり、そこでかなり腕を磨いた。

一方、高校生の仲間とも卓を囲み、ある時、駅を挟んだ反対側の「雀荘」で打っている最中に、生徒会の委員たちが査察に訪れた。帽子を脱ぎ、制服を脇に置いて居たが、制服のボタンで高校生と分かり、生徒証(身分証明書)を取り上げられてしまった。生徒会の委員たちは学校にどのように報告したかは分からないが、翌日委員を通じて返却してくれ、家庭にも連絡がなかった。

このような雰囲気の中、その後は電車に乗って、別の学校近くの雀荘で遊んだり、自宅や友達の家での自室や応接間などで、卓を囲み、徹夜麻雀などを楽しんだ。私が習った麻雀では最初はアルシヤール麻雀と言われ配点も二千点であった。しかし報知新聞が始めた「報知ルール」でインフレ麻雀へと変化していった。

私は高校生時代を最後に、大学生から社会人になっても、あまり麻雀に興味がなく、お付き合い程度で、自然と遠ざかって行った。しかし今でも、麻雀牌を触ると盲牌ですべての物が分かる。

このように部活もせず、麻雀とパチンコ(もちろん学校には内緒)に明け暮れたので学校の成績も次第に降下線をたどってしまった。特に数学は一年生の「幾何」、二年生の「解析Ⅰ」までは順調であったが、三年生の「解析Ⅱ」は理解できないまま終わってしまった。卒業式の終了後、大学生になれば、二十歳を待たず大人の仲間入りができ、学友と「これで、煙草とお酒は解禁になる」と祝ったものだ。

(つづく)

6. 事務局だより

事務局

●3月となり、寒さの日々から解放される時期になりました。今年の冬は雪国を始めとして各地で、豪雪に見舞われました。札幌では積雪のためJR北海道で列車が全面運休となり、各地で観測史上最大の積雪となりました。

●2月15日の理事会で「役員推薦会議」からの答申が明らかになりました。第28期、29期の役員は常務理事平松靖弘氏の退任・脱退に伴い、監事の下斗米裕英氏が理事に、新任の監事に大野美紀氏（行政書士大野事務所）が女性として初めて推薦され、その他は顧問を含めて全員再任の推薦となりました。この結果は5月の通常総会に上程されます。

●事務局及び801号室の複写機は再リースを経て9年間に亘って使用してまいりました。この度、事務局のC5240F（カラー）のみ入れ替えて、新しくリース契約を結ぶことになりました。尚、801号室の4035F（モノクロ）は再リースして使用します。2月15日の理事会で承認されました。

●三井住友銀行とのネットバンキング登録が完了し、2月から運用が可能となり、今後の支払は原則振込となりました。振込先を新たに指定する方は事務局の宮坂迄連絡をお願いします。また、現金出納は宮坂事務局長に一本化しました。

●会議室での「ウェブ会議」が多くなったのに伴い、背後のカーテンを見直すことになり、カーテンレールを設置して、見栄えを良くすることになりました。費用は若干掛かりますが、2月15日の理事会で承認され設置を完了しています。

●下田将文さんと㈱ウインビルドから退会届が提出されました。下田さんは昭和9年生まれの組合員最高年齢者で、ISOやBCセミナーで活躍されました。

●3月の行事の予定

10日（木）テレワーク協会 打合せ（13：30）

15日（火）理事会（13：00）

22日（火）貿易実務会議（13：30）

23日（水）営担会議（10：30）

●4月の行事等の予定

12日（火）運営会議（10：30）

13日（水）営担会議（10：30）

19日（火）理事会（13：00）

27日（水）営担会議（10：30）

一粒万倍

▼コロナ禍での冬季北京オリンピックは2月20日に閉会式を迎えた。日本は日本選手の活躍で3.6.9とメダルを18個獲得して平昌を上回った。今回もまたロシアの選手団（ROC）がドーピング問題を起こし、未成年者の責任問題へと発展した。3月4日からは冬季パラリンピックが始まり、日本選手の活躍が期待されています。平和の祭典と地政学的リスクの暗雲は晴れることがない。

▼そのロシアが「ウクライナ」への侵攻を始めました。ロシアのプーチン大統領は独裁力を発揮し、軍隊を四方八方からウクライナに攻め込みました。しかし、ロシアの力による威嚇はウクライナ軍の思ったより力強い抵抗にあっています。ロシアは国連の大使をはじめとして、世界各国に派遣された大使は侵攻の弁論にあたり苦労しているようです。国連の決議もロシアの議決権の拒否でなかなか進まないようです。

▼ロシアの「ウクライナ」への侵攻と中国の「香港」「台湾」への圧力は地政学的には同じことと思われる。共にリーダーは独裁的で嘘つきであり自己を貫き他国の主張には耳を貸さないことである。又、時代が異なるが、ロシアのウクライナ侵攻と、かつての日本軍の満州事変（中国北東部）での侵略が似ているように思われる。

▼ロシアには「オルガルヒ」というプーチンの側近がいます。彼らは富豪であり社会主義に反するように国外に多くの資産を所有しています。それらの資産を凍結され、彼らがプーチンに何らかの働きかけをすることで、今回のウクライナ侵攻の解決に繋がればと思っています。

編集後記：*振り返って見るとコロナ禍の年月も3年目を迎えています。船曳先生の「コロナ情報」も16回目となりました。オミクロン株による第6波も終息が近づいたようです。しかし、その後遺症はまだまだ続きそうです。蔓延防止等重点措置を適用中の31都道府県のうち18都道府県が期限を3月6日から21日に延長しました。*「記憶に残る西部劇」も第4回となりました。筆者の小泉幾多郎氏は我々の仲間内では「エーガ愛好会」の重鎮としてとして活躍しています。当分は「ジョン・フォード」監督の西部劇が続く予定です。年配者にとっては懐かしい映画となりそうです。ご愛読をお願いします。